

保健福祉局

一般会計要求総額	162,107百万円 (対前年度 +3.7%)
特別会計要求総額	236,351 百万円 (対前年度 +5.2%)
病院事業会計	819 百万円 (対前年度 +6.1%)

【令和4年度 予算要求の経営方針】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策として、検査体制の充実や医療提供体制の確保など、感染拡大防止に向けた取組みを推進します。

また、コロナ禍により大きく影響を受けたフレイルなどの健康二次被害や、社会的な孤独・孤立、生活困窮問題など喫緊の課題である地域福祉の再構築に取り組むとともに、ウィズコロナ・ポストコロナの社会に向けた施策を展開します。

【令和4年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業、⑩：拡充事業

1 新型コロナウイルス感染症の対策

ワクチン接種による効果等も踏まえつつ、今後の感染拡大にも対応できるよう、十分な検査体制、医療提供体制を確保するとともに、自宅療養者に対する支援を強化する。

<主な事業>

身近な医療機関でのPCR等検査事業	感染症対策事業（臨時）	
自宅療養者支援事業	保健所機能強化事業	など

2 健康課題、地域福祉への取組みの強化

長引くコロナ禍の生活において、運動不足やストレスから生じた健康二次被害の影響に対し、生活習慣病・認知症の予防や、生活機能の向上を図るため、健康づくり・フレイル対策の普及啓発を行う。

また、孤独・孤立、生活困窮問題などの喫緊の課題に対し、NPO 法人や社会福祉団体等と連携・協働し、地域福祉の再構築に取り組む。

<主な事業>

① 健康づくり、認知症予防の強化		
⑩地域介護予防活動実践者支援事業	⑨若い世代の健康づくり促進事業	など
フレイル対策強化事業		
② 孤独・孤立、生活困窮対策		
⑩ひきこもり地域支援センター事業	⑩自殺対策事業	など
⑩成年後見利用支援事業		

3 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

ウィズコロナ・ポストコロナの新しい生活様式に対応するため、新たな感染症に備えた課題に取り組むほか、遠隔・非接触化、デジタル化の推進など、感染症に強いまちづくりを推進する。

<主な事業>

⑨ワンヘルス推進事業	⑨高齢者へのデジタル普及事業	
⑩認知症高齢者等安全確保事業	先進的介護「北九州モデル」推進事業	など

◆◆◆主な特別会計◆◆◆

国民健康保険特別会計	(予算要求額	107,770 百万円)
介護保険特別会計	(予算要求額	106,984 百万円)
後期高齢者医療特別会計	(予算要求額	17,996 百万円)
市立病院機構病院事業債管理特別会計	(予算要求額	3,246 百万円)



北九州市健康イメージキャラクター
「スマッキー」

※公開時点での予算要求の内容であり、令和4年度に実施することが確定しているものではありません。